



縁の下の力持ち。

捜査第二課 庶務係
平成26年採用 主任主事
佐賀大学 卒業

警察行政職員になったきっかけは？

私は、小さな頃から警察密着ものの番組が大好きで警察官に憧れていました。ただ、自分自身が警察官になりたいという気持ちよりも、憧れの警察官の仕事をサポートしたいという気持ちの方が強く、警察行政職員を志望しました。

印象に残ったエピソードを教えてください。

以前、警察署の会計課で落とし物の届出の窓口を担当していた時のことです。ある日、一枚の定期券が拾得され、私は落とし主に連絡を取り、それを受け取りに一組の親子が警察署にやってきました。落とししたのは母親の方で、私はいつも通りの対応し、返還手続きを行いました。

後日、私がある異業種交流会に参加した際、ある女性の方から声を掛けられ、「先日、定期券を落としした者の娘です。怖い印象の警察署に落としした定期券を受け取りにいかねばならないと不安がる母についていったのですが、窓口でのあなたの対応が大変優しく、親子二人で安心しました。あのあと母と『全然怖くなかったね。警察の職員にもあんな人がいるんだね』と話しながら家に帰りましたよ。」と伝えられ、大変嬉しく思った記憶があります。

この親子のように「警察」の印象が、私の窓口での対応一つで決まることもあるのだと自覚し、それまで以上に警察署に来る方の気持ちを考え、笑顔で対応することを心掛けるようにしました。

現在の仕事について教えてください。

これまでは主にお金を扱う会計業務を担当していましたが、現在の捜査第二課に異動してからは会計業務に加え、福利厚生などの総務事務も担当することになりました。最初はわからないことばかりでしたが、警察行政の先輩や警察官の上司から指導を受けつつ、日々勉強中です。仕事の幅が広い職場である分、たくさん学ぶことができるので、その都度自分の成長を感じることができます。もし今後、自分が家庭を持つことになったとしても、福利厚生が充実しているので安心して仕事を続けられることができると今の仕事を通して実感しています。

警察行政職員を目指す方にメッセージをお願いします。

警察官が現場で円滑に仕事ができるよう、見えないところで活動しているのが警察行政職員です。今の私の仕事は、警察官のように表立って目立つような仕事はありませんが、自分たちも福岡県の安全・安心を守っているという誇りをもって仕事をしています。もちろん、鑑識課などの専門的な部署で捜査の一部に携わるような仕事もあります。

警察官という枠組みに限らず福岡県を守りたい、いろんな方面から警察組織に貢献したいという思いのある皆さん、是非、警察行政職員となって一緒に働きましょう。